

令和6年 第1回

四日市市教育委員会会議案

関係資料

日時 令和6年 1月17日 午前9時30分～

場所 四日市市役所 9階 教育委員会室

令和6年 第1回 教育委員会会議 議事

○協 議

新図書館の諸室構成案について…………… 別冊

○報 告

令和5年11月定例会議の報告について…………… P 3/12

本市におけるいじめ事案について…………… 別冊

令和5年11月市議会
定例月議会
本会議審議等内容報告

四日市市教育委員会

令和5年11月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|--------------------------|--|---|
| <p>太田 紀子 (日本共産党)</p> | <p>○体育館の空調設備の設置を ①文科省の発表によると、令和4年9月1日時点で、小中学校での普通教室エアコン設置率は95.7%、特別教室では61.4%の設置率となっているが、本市の進捗状況はどうか。</p> <p>②文科省の令和4年9月1日時点の発表で小中学校の体育館の空調設備設置率は11.9%と、ほとんど整備されていないのが現状。小中学校の体育館は指定避難所にもなっており、避難所での二次被害防止のためにも、体育館への空調整備は必要と考えるが、断熱性等の課題もある。体育館への空調設備設置を検討する上での課題は何か。</p> <p>③空調設備の整備に文部科学省などの制度を活用して進めるべきではないか。</p> | <p>(副教育長)</p> <p>①平成9年頃から、保健室、校長室をはじめ、職員室、PC室の整備を行い、平成26年から28年にかけて、特別教室である図書室、音楽室、視聴覚室を整備、普通教室は令和2年度から供用を開始した。また、小学校の給食室は令和5年9月から供用を開始した。加えて、保健室や職員室等の空調設備の更新は令和6年度中に行うべく取り組んでおり、今議会において事業者との契約締結の議案を上程している。一方、理科室、図工室や技術室、家庭科室等の特別教室や、体育館、武道場は未整備の状況である。令和4年9月1日現在の特別教室の空調設備整備率は、全国61.4%、三重県全体で62.7%、本市は46.9%であり、特別教室へも順次整備していきたい。</p> <p>②全国の小中学校の体育館への空調の整備率は11.9%と低い。これは事業費が高額になることをはじめ、多くの課題があることによる。体育館は教室に比べ体積が非常に大きいため、空調機本体の整備に加え、文科省でも課題とされている、建物の気密性や断熱性を向上させる工事を併せて行い、建物性能の改善が必要とされている。加えて、空調方式や機器の能力、効果的な設置位置、熱源、費用の検討に加え、入学式など様々な行事との調整など、多方面からの検討が必要となり、また、本市の体育館は近い将来建替えが必要となる。このような課題がある中、今年度、鈴鹿市、名古屋市、岐阜市、町田市など学校の体育館に整備された様々な空調を視察した。これらの自治体では体育館の断熱改修を行わずに空調を整備しているが、一定の効果を発揮している。こういった事例も参考にしながら、引続き、調査研究を進めていく。</p> <p>③本市においても、普通教室への空調整備や、保健室等の空調更新などについては、文科省の学校施設環境改善交付金を活用している。しかし、体育館の空調整備にこの交付金を活用するには、建物の断熱性能の確保が要件となっており、それらの工事も併せて行くと、交付金を差し引いても、事業費が高額になることが考えられる。体育館への空調整備にあたっては、断熱性能や建物の寿命などを総合的に勘案しながら、全体的な事業費の縮減に努めていく必要がある。一方、本市の学校施設については、校舎改築事業や大規模改修事業、また、理科室や図工室などの特別教室の空調が未整備であることなど、課題が山積している。教育委員会としても施設の各課題に対して、着実に取り組んでいきたい。</p> |

令和5年11月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|---------------|--|---|
| 森 智子 (公明党) | <p>○学校図書館の現状と今後について</p> <p>①学校図書館の利用状況はどうか。</p> <p>②学校図書館における図書標準の達成状況はどうか。</p> <p>③学校図書館への新聞の配備はいかがか。</p> <p>④学校司書の活用の現状や読書活動推進校の取組についてどのように考えているか。</p> <p>⑤市立図書館との連携についてどのように考えているか。</p> | <p>(教育長)</p> <p>①子どもたちを取り巻く情報環境の変化等により、読書離れが進んでいる現状がある。</p> <p>②学級数の増加などで学校図書館図書標準を達成できなかった学校が一部あるが、市全体としては達成している。また、未達成の学校には、予算を増額するなど、達成率向上に努める。今後は学校図書館資料除籍基準に基づき、適切に図書の選定・廃棄をしたり計画的な更新を行う。</p> <p>③紙及びデジタルの新聞も含めた様々なメディアの中で、社会の情勢や子どもたちの実態にあった情報媒体の在り方、活用の仕方を検討していく。</p> <p>④学校図書館司書は業務委託による配置を行っており、各校の司書教諭や学校図書館ボランティア等と連携して、子どもたちの様々な読書活動を支援している。読書活動推進校については、本市では、平成26年度から毎年6校指定し、特色ある工夫した読書活動について研究を行うとともに、学校図書館の有効活用のための情報発信を行っている。</p> <p>⑤これまで四日市市子どもの読書活動推進計画で、市立図書館の学校団体貸出を進めてきた。市立図書館の本で構成された「なのはな文庫」の巡回配備などにより、様々な本を読む機会を作っている。令和5年10月より、電子図書館を利用し、タブレット端末で電子書籍を読むことができるようになった。今後は、子どもたちが自分たちに合った形で電子と紙の使い分けをすることで、主体的な読書活動につなげていく。</p> |

令和5年11月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|------------------|---|--|
| 上 麻理 (政友クラブ) | <p>○運動場・公園の危険金属による負傷を防ぐ為に必要な対策</p> <p>①小・中学校における釘や鉄などの危険物への対応はどうか。</p> <p>②金属探知機能の器具を用いての安全管理はできないか。</p> <p>学校・園では金属探知機を使わないということによいのか。目視での確認には漏れがあり、教育委員会がどう安全確保をするか、今一度検討をお願いしたい。今回の答弁には大変不満であり、今回を受けて今後も保護者や地域住民と対話しながら対応を考えていきたいと思っている。(意見)</p> | <p>(教育長)</p> <p>①5月、8月に文書により事故防止・安全管理の徹底を指示した。全小中学校で運動場の状況を目視で確認し、過去の目印等不要なものや埋設されたままのものが約280本発見され、撤去が完了している。</p> <p>②法の規定に基づき安全点検を計画的に行っている。また、おおむね2年に一度業者による土の補充・整備作業を行っている。目印の撤去の確認徹底、材質等の再検討を今後指示する。児童生徒の安全意識づくりの教育活動を続けるとともに、現在行っている安全管理の取り組みを徹底していく。</p> |
| 伊藤 嗣也 (政友クラブ) | <p>○新生児を、障がい者を、給食を、森や川を、本気で守れますか？</p> <p>①学校給食センターは、HACCPの考え方をどのように取り入れているのか。</p> <p>②HACCPの考え方によれば、原材料の受入れから出荷に至るまでの衛生管理が重要であり、とりわけ飛翔性昆虫は、混入により生徒のトラウマにもなりうることから、適切な対策が必要である。近年、飛翔性昆虫の誘引阻止率80%を実現する防虫フィルムが商品化されているが、学校給食センターで導入してはどうか。</p> <p>※HACCP(ハサップ)…食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。</p> | <p>(副教育長)</p> <p>①学校給食センターの衛生管理は、学校給食法第9条に基づく「学校給食衛生管理基準」や、厚生労働省の定める「大量調理施設衛生管理マニュアル」等に従い実施している。これらの基準はHACCPの考え方に基づくことから、学校給食センターの衛生管理もHACCPの考え方に基づき実施されている。</p> <p>②学校給食センターでは、食材搬入用プラットフォームと荷受室の間の開口部へのエアカーテンの設置、荷受室と検収室の間の扉へのインターロック制御の自動ドアの採用、コンテナ搬出口と配送車の荷台を密着させるドックシェルターの設置等の対策により、外部からの虫等の侵入を防止している。現状でも、基準に基づく衛生管理は十分できていると考えるが、子どもたちを守りたいとの議員の思いを受け、提案について、担当者及びPFI事業者と情報共有し、検討したい。</p> |

令和5年11月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|------------------|---|---|
| | <p>○姉妹都市交流の今後について</p> <p>①YEFの制度、選抜方法、ALTとの違いは何か。</p> <p>②その具体的な成果をどのように捉えているか。</p> <p>③近隣他市の状況についてあれば教えてほしい。</p> | <p>(教育長)</p> <p>①YEFの制度に関して、まずロングビーチ市にある「ロングビーチ市四日市市姉妹都市協会」の方の協力により、公募、その後面接と模擬授業による選考が行われる。それを踏まえ、四日市市教育委員会においてもロングビーチ市から送られたビデオ映像を基に選考を行い、採用者を決める。四日市市ではALTをYokkaichi English Fellowの略称で、YEFと呼んでいる。</p> <p>②YEFは現在16名おり、英語の授業で英語科教員とチームティーチングによる指導を行う他、休み時間もコミュニケーションを図り、放課後もスピーチコンテストの指導をする等、実践的な英語力向上に寄与している。</p> <p>③桑名市はJETプログラムから3名、会計年度職員として1名、計4名を小中学校へ配置している。鈴鹿市はJETプログラムから5名、その他英語アシスタントとして有償ボランティアを小中学校へ配置している。</p> |
| 荻須 智之 (政友クラブ) | <p>○大矢知地区の通学路の安全確保について</p> <p>①以前、教育長から「学校の改修は優先順位はなく現実的な学校から対応してきた」という答弁があったが、それならば教育施設環境課題が3番目であるという朝明中学校から対応してもよいのではないかと。また、現在はどのような順位となっているのか。</p> <p>②朝明中学校より教育環境が劣るとされた常盤中学校、山手中学校にはどんな対策をしてきたのか。</p> | <p>(教育長)</p> <p>①令和5年8月定例会月議会で「通学路の危険個所対策について、具体的な優先順位付けはなく、効果が高く実現可能な箇所から取組を進める」と答弁したとおり、教育施設環境課題については、生徒一人当たりの校舎面積、グラウンド面積にて算出しており、現在の朝明中学校は4番目である。</p> <p>②常盤中学校は令和3年から5年にかけて大規模改修を行った。山手中学校は令和9年度に大規模改修を予定している。朝明中学校や大矢知興譲小学校においては、全市的な計画に基づく施設改修に加え、それぞれの課題の解決に向けた施設改修を行っている。</p> <p>(市長)</p> <p>朝明中学校を分割し、大矢知中学校を新設することについて、方針転換されるきっかけとなったのは、平成25年2月定例会月議会において関連予算が否決されたことである。一方で、市長に就任してから方針を転換したのは、朝明中学校の移転についてである。これは、当時の朝明中学校が既に生徒数のピークを越えて減少傾向にあり、適正児童生徒数の範囲内にあるため、移転する必要がないと判断したためである。</p> |

令和5年11月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|------------------|---|--|
| 荻須 智之 (政友クラブ) | <p>③「大矢知郵便局前交差点」と「山分橋南交差点」を比較すると、事故数は前者が19件、後者が0件である。また、1時間当たりの交通量は前者が505台、後者が362台である。よって、山分橋南交差点の方が安全だと考えるが、なぜ市長は令和5年8月定例月議会で「ミスリード」と話したのか。</p> <p>④通学路の見直しはできないのか。</p> <p>⑤「山分橋南交差点」の交通量は測定したのか。</p> | <p>(市長)</p> <p>③今のルートは教育委員会、学校、地元関係者等との協議のうえで設定していることから、変更するのであれば再協議が必要である。当該交差点の利用人数、交差点の通行形態、視認性の観点から、安全面で懸念がある。</p> <p>(教育長)</p> <p>④朝明中学校では「大矢知地区通学路に関するアンケート」を行い、「良い、おおむね良い」が53%、「課題がある、やや課題がある」が47%であった。今後も安全指導を行うとともに、PTAとともに通学路の検討は行っているところである。</p> <p>⑤令和2年10月に実施し、7時から8時30分にかけて約270台の自動車の通行を確認している。</p> |
| 諸岡 覚 (新風創志会) | <p>OPTAをもっと楽しく！もっとクリアに！</p> <p>①PTAへの加入は強制ではなく、また加入しなかったとしても不利益はないことを保護者に周知すべきではないか。</p> <p>②現状の強制が疑われるような入会方法には課題がある。入会届・退会届を整備することにより個別で意思確認するようPTAへ助言すべきではないか。</p> <p>③必要性が不明な他団体主催の会合や研修会への動員依頼がPTAの負担になっている。参加の義務がないことを助言すべきではないか。</p> <p>④PTA加入率は下がるかもしれないが、かつての日本のように地域の宝である学校、子どもたちを地域全体で支えていく形になるのではないか。</p> | <p>(教育長)</p> <p>①PTAは任意団体で、加入の義務はなく自由意志によるものと考えている。また、保護者がPTAに未加入であっても、子どもが学校教育活動の中で不当な取り扱いを受けることはない。これらのことは四日市市PTA連絡協議会や学校長を通じて保護者へ伝えていく。</p> <p>②入退会の意思表示は一律に書面である必要はないと考えるが、その方法について課題として認識いただくよう四日市市PTA連絡協議会や学校長を通じて各PTAへ伝えていく。</p> <p>③PTAは任意団体であり、会議や研修会等への出席が強制されることはなく、必要に応じて出欠を判断いただいているものと認識しているが、改めてそのような義務がないことを伝える。</p> <p>④地域全体で学校を支える四日市版コミュニティスクールの仕組みがある。学校・保護者・地域関係者が一体となって子どもたちにより良い教育環境を整えていけるよう努める。</p> |

令和5年11月議会 付託議案の質問質疑に対する答弁要旨

◎議案第74号 小中学校保健室等空調設備整備事業にかかる特定事業契約の締結について

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|----------------|--|---|
| 山口 智也 (公明党) | <p>①小中学校保健室等空調設備整備事業の事業者選定手続きにおいて、過去入札不調が続いたこともあると思うが、教育委員会として今回対策した事項等はあるか。</p> <p>②特別目的会社の応募はスムーズにいったのか。</p> | <p>(教育施設課長)</p> <p>①2回目の不調は急激な物価上昇が原因と考えている。今回は市場調査を行いながら入札価格の決定をしてきたので応札に結び付いたと考えている。</p> <p>②最終的には1グループの応募だったが、入札参加資格の審査時点では2グループから関心があった。前回の不調時から関わっていた企業だったため、経緯などを把握しており、応募に至ったと考えている。</p> |

令和5年11月議会(予算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎債務負担行為の補正

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|------------------|--|---|
| 山田 知美 (新風創志会) | <p>○生活ログ管理システムおよび校務支援システムダッシュボード機能について</p> <p>①生活ログ管理システムとダッシュボード機能の違いは何か。</p> | <p>(教育支援課長)</p> <p>①生活ログとして児童生徒がその日の心の天気を入力すると、校務支援システムのダッシュボードに表示される仕組みになっている。同じ業者のシステムのライセンスを契約することで、こうした連携が可能になるため、効果的に活用して児童生徒の様子の把握につなげたい。</p> |
| 谷口 周司 (新風創志会) | <p>○デジタル採点システムについて</p> <p>①デジタル採点システムに解答用紙データを取り込むためのスキャナーは各校に配備されているのか。</p> <p>無料試用期間に利用した中学校では、94.4%の教員が採点にかかる時間が短くなったと回答したが、残りの短くならなかった教員の背景についても考えてほしい。(意見)</p> <p>②システムによる採点はどの程度の精度なのか。また、教員が部分的に点数をつけるなどの裁量がなくなってしまうのではないか。</p> <p>手書きの採点には、教員がメッセージを書いてくれるなど、手書きならではのコミュニケーションの役割もあったと感じる。システム導入により教員の負担軽減につなげる一方で、こうしたコミュニケーションも大切にしてほしい。また、採点結果のデータの蓄積、学習の振り返りなど個々の指導につなげることも期待できるため、有効に活用してほしい。(意見)</p> | <p>(教育支援課長)</p> <p>①高速処理ができる複合機を基本的に各校に1台配備しており、そのスキャン機能を利用している。一時的に混雑するかもしれないが、一度取り込めば教員が自分の端末で採点ができる。</p> <p>②記号問題は自動採点が可能である。漢字の書き取りなどシステムで判別できない問題は、同じ問題について各生徒の答案を一覧に表示して教員が画面上で○×を付けられる。△をつけて部分点を与える機能もある。</p> |
| 笹井 絹予 (政友クラブ) | <p>○デジタル採点システムについて</p> <p>①スキャンする答案用紙の数が多くても対応できるのか。</p> <p>②教員の採点にかかる時間をどのくらい短縮できるのか。</p> <p>③スキャンしたデータはすぐに消えてしまうのか。</p> | <p>(教育支援課長)</p> <p>①無料試用期間に利用した学校では、200人が一斉に受けたテストの答案にも対応できた。県立高校でも同様の採点ソフトを導入しているところがあり、学年400人分の採点にも対応できたと聞いている。</p> <p>②教科により異なるが、半分から6割程度まで短縮できる。システムに慣れればさらに短縮できると考えている。</p> <p>③スキャンしたデータはクラウド上に保存し適宜削除しながら運用するところであり、すぐに消えることはない。</p> |

令和5年11月議会(予算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎債務負担行為の補正

| 質問議員(会派) | 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|-------------------------|---|---|
| <p>谷口周司 (新風創志会)</p> | <p>○学校給食用食材調達等業務委託について ①学校給食協会の組織の構成と業務内容を確認したい。</p> <p>②学校給食協会には学校現場を理解している職員が所属しているのか。</p> <p>物価高騰により食材調達が困難になり給食が滞ることがないよう、学校給食協会と連携し、今後もスムーズな調達を継続してほしい。 (意見)</p> | <p>(学校教育課長)</p> <p>①事務局長1名と、事務員として会計担当1名、物資担当2名の計4人体制であり、登録業者に対して食材の発注を行っている。登録業者の協力により、小学校、中学校ともにスムーズに発注できている。</p> <p>②事務局長には学校長の経験がある者が就いている。</p> |

令和5年11月議会(予算常任委員会全体会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎温水プール整備事業費について(産業生活分科会)

| 質問・質疑等要旨 | 答弁者及び答弁要旨 |
|--|---|
| <p>温水プールの建て替えについて、水泳協会から陳情が出ていること重く受け止め、あらためて市と水泳協会できちんと話し合いを行うべきである。教育委員会の水泳指導民間委託事業も踏まえて全体の計画を作るべきではないか。</p> | <p>次年度は水泳指導の民間委託に係る調査を行い、学校プールの在り方について検討していく。全ての子どもたちに同じような水泳指導ができる環境を整えるために様々な検討を図っていく。今回はまず可能性を調査し、その後全体の計画を考えたい。</p> |